

2018司法試験受験生応援！
辰巳司法試験全国公開模試等開講特別企画

平成30年主要考査委員紹介&出題予想【商法】

松井秀征 立教大学法学部教授

【所属大学教員紹介HP】

<http://univdb.rikkyo.ac.jp/view?l=ja&u=223>

松井秀征教授（以下「松井教授」といいます。）が平成30年司法試験及び予備試験考査委員（商法・出題委員）に任命されました。

上記教員紹介HPには、研究分野・キーワードとして「新株発行，商法，企業再編，商取引法，会社法」と記載されています。また、研究テーマとして、「株主総会制度や株式発行制度を中心に、歴史的な視点から株式会社をめぐる法制度や法解釈を眺め、その依拠するパラダイムが何であるかを把握しようと試みてきた。」と記載されています。さらに、松井教授の主要単著は、『株主総会制度の基礎理論』（有斐閣，2010）です。したがって、松井教授のこれまでの最大の関心分野が株主総会であることがわかります。

株主総会に関し、松井教授は、伊藤靖史ほか『リーガルクエスト会社法』（有斐閣，第3版，2015（なお，2018年4月中旬に第4版刊行予定。下記有斐閣HP参照。））のP.140～168「第4章第2節 株主総会」を、また、黒沼悦郎編著『Law Practice 商法』（商事法務，第3版，2017）のP.128～167「第4章 株主総会」も執筆されています。いずれも非常に充実した内容ですので、司法試験対策として参考にするのがよいと思います。

また、松井教授は、伊藤靖史ほか『事例で考える会社法』（有斐閣，第2版，2015）の著者の一人でもあります。松井教授が執筆した事例④は、平成29年司法試験論文式試験問題の設問1に類似する事例問題といえます。そのような観点から分析しますと、事例⑩「＜設問1＞会計帳簿閲覧謄写請求と拒絶事由」及び「＜設問2＞株主名簿閲覧謄写請求」は、平成30年に出題される可能性があるかもしれません。

なお、松井教授は、かつて法学教室の演習商法を執筆されていました（法学教室331号～342号）。その中でも、「1 取締役会における議題の通知（基本問題）」「2 代表取締役の解職と特別利害関係（基本問題）」「3 任期中における取締役の報酬額の変更（応用問題）」を解説されている法学教室338号P.140～141は、平成28年司法試験論文式試験問題に類似する事例問題といえます。同じ問題が平成30年に提出される可能性は高いとはいえませんが、興味のある方は、上記法学教室の演習商法を検討してみたらよいのではないのでしょうか。

【参 考】

- ・伊藤靖史ほか『リーガルクエスト会社法』（有斐閣，第4版，2018年4月中旬刊行予定）（有斐閣HP）
<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641179356>
- ・黒沼悦郎編著『Law Practice 商法』（商事法務，第3版，2017）（商事法務HP）
<https://www.shojihomu.co.jp/publication?publicationId=2816254>
- ・伊藤靖史ほか『事例で考える会社法』（有斐閣，第2版，2015）（有斐閣HP）
<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641137295>

原案作成：辰巳法律研究所教材チーム（スタ論・全国公開模試等担当）

監 修：辰巳専任講師・弁護士 福田俊彦 先生